

## 2003年度秋季大会予稿集の申込みについて

2003年秋季大会（仙台市）の予稿集（84号）の予約希望者は下記を記入のうえ葉書またはFAX（e-mailでも可）で学会事務局宛にお申し込み下さい。すでに定期講読されている会員は不要です。

### 記

- 1) 氏名（会員番号がわかる場合は会員番号も）
- 2) 送付先または所属（会員番号を記入した場合は省略してもよい）
- 3) 84号（秋季大会予稿集）のみの場合：84号のみ。  
84号以降定期講読の場合：84号以降定期と記して下さい。

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
日本気象学会 事務局  
Tel：03-3212-8341 内線2546  
Fax：03-3216-4401  
e-mail：metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp

注. \*印刷部数が限られているので、購読希望の方は定期講読をお勧めします。大会当日は売り切れとなることがあります。

予稿集の申込締切りは2003年10月3日（金）です。

| 頒布価格（円） | 個人会員  | 団体会員  |
|---------|-------|-------|
| 84号のみ   | 2,420 | 2,630 |
| 定期講読    | 2,100 | 2,310 |

非会員はすべて2,630円です。



## 第26回極域気水圏シンポジウム開催のご案内

国立極地研究所では毎年極域に関わる研究をテーマとしたシンポジウムを開催しております。このうちの大气、雪氷、海洋圏の研究に関する極域気水圏シンポジウムを本年も開催することとなりました。

現在南極地域では、日本南極地域観測隊による短期間の集中観測として5か年計画で「極域大气—雪氷—海洋圏における環境変動機構に関する研究」が終了し、新たに「南極域からみた地球規模環境変化の総合研究」がスタートしました。また長期間の観測を主目的とした「地球環境変動に伴う大气・氷床・海洋のモニタリング」、「衛星データによる極域地球環境変動のモニタリング」が継続して実施されています。国内ではこれまで得られた観測データ、試料等による研究が進展しています。特にドームふじ観測拠点で得られた氷床コア、大气中及び雪氷中の微量成分分析データ等を利用した研究からさまざまな成果が得られています。一方北極地域では、スバルバル、グリーンラン

ド、カナダ、シベリア等多くの地域において、大气、雪氷、海洋に関する多岐にわたる観測・研究が行われています。

これまでの諸観測から得られた資試料の解析結果はもとより、南北両極・寒冷域を主な対象とした大气科学、雪氷学、海洋学に関する研究成果、研究展望などを議論するシンポジウムを下記のとおり開催いたします。広く発表を受け付けておりますので、ご応募くださるようご案内申し上げます。

日時：2003年11月19日（水）、20日（木）

会場：国立極地研究所 6階講堂

申込締切：2003年9月24日（水）必着

問合せ先：国立極地研究所 藤田秀二、岡崎美紀

〒173-8515 東京都板橋区加賀1-9-10

e-mail：icesamp@pmg.nipr.ac.jp

Tel：03-3962-7125, 03-3962-5517

Fax：03-3962-5719